



ŌMIYA NEWS



No.28 2021年9月26日 JR東労組大宮地本

**出向者・エルダー組合員の悩みや職場実態を共有化し、
出向先の労働環境改善を取り組みます！**

大宮地本主催

「出向者・エルダー組合員意見交換会」を開催！

9月25日 大宮総合車両センター



大宮地本は9月25日に「出向者・エルダー組合員意見交換会」を開催し、多くの若年出向者組合員・エルダー組合員の方に参加して頂きました。

最初に21春闘・夏季手当・大地申18号交渉のたたかいについて問題提起を行ない、分散討論の場でこの間のたたかいについてや、出向先について職場実態・問題を出し合い参加者全員で共有化出来ました。

大宮地本は今回の意見交換会で出た声を基に、出向者・エルダー組合員はもちろん、グループ会社の社員が安全で働きやすい職場環境の構築を目指し、労働環境の改善を図る取り組みを継続していきます。

意見交換会で出た職場の実態(一部)



今の職場は大変だよ！

- ・今まで長年培ってきた技術の継承が進み切れていない実態がある。しかし今年で退職を迎える **技術を持った方が、希望していない分野の場外企業へエルダー出向に行かされている。**
- ・協力会社の若手プロパー社員は多能工化の為にすぐ職場を異動している。**せつかく技術を覚えても別職場に出されてしまい、その穴埋めをエルダー社員が行っている。**
- ・会社施策によりプロパー社員は一定時期に異動となり、**技術力の低下と超勤増加を招いている。**
- ・建屋の移動に伴い**台所が狭くなり、食事を作りづらくなった。**
- ・**プロパー社員は会社に問題を話す場がない**ので、エルダー組合員である私たちから上げている。
- ・同じ敷地内で業務に従事している**会社により、コロナワクチン接種後の副作用発生時における勤務扱いが違う。**(接種後7日間のうち1日欠勤に出来る会社と、年休を取る会社がある)

組合員の声をもとに、労働環境改善を取り組もう！